

令和6年度 学校経営計画書

学校番号	4	学校名	静岡県立伊豆伊東高等学校（全日制）	校長名	池田 将章
------	---	-----	-------------------	-----	-------

【教育目標】（伊東地区新構想高等学校基本計画）

自ら考え、行動する力を持ち、豊かな感性と教養を身につけ、他者と協働し、未来を創造する人間を育てる。

【教育方針】（伊東地区新構想高等学校基本計画）

- (1) 高いところざしを育み、探究活動を通して、自分の将来に向けて成長する生徒を育てる。
- (2) 専門的・先進的な知識を身につけ、様々な体験を通して、生涯にわたり学び続ける生徒を育てる。
- (3) 多様性を理解し、人とのかかわり合いを通して、グローバルな視野を養い、地域の発展に力を尽くす生徒を育てる。

【校訓】

真理を尊ぶ人であれ 価値を生み出す人であれ 他者を支える人であれ

1 スクール・ミッション

東豆地区の高校教育の拠点として、個に応じた新しい時代の学びに対応した教育活動を展開することで、未来を創造する人材の育成を目指す。

2 スクール・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
<p>～本校では卒業までにこのような資質・能力を身に付けます～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>基礎的知識・技能</u>（豊かな感性、豊かな教養） ・<u>個々の学科・類型や志向に応じた専門的知識・技能</u> ・<u>情報収集・分析力</u>（確かな情報収集、幅広い視野、深い洞察力） ・<u>課題発見力、解決力</u>（論理的思考力、構想力、ポジティブシンキング、発信力） ・<u>セルフコントロール</u>（感情制御力、ストレスに対応する力、レジリエンス、粘り強さ） ・<u>自分らしさの創出</u>（自己肯定、工夫する力、突破する力、独自の発想力） ・<u>責任ある行動を取る力</u>（挑戦する意欲、目標の明確化、効果的な計画立案） ・<u>協働する力</u>（チームワーク、リーダーシップ、柔軟性、コミュニケーション能力） 	<p>～本校ではこのような学びを行います～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・複数の学科、類型を併置することで、個々の特性やキャリアデザインに合わせた学習内容を構成し、学科や類型の横断による創造的な学び ・併置する特別支援学校との日常的な共生・共育、多様な生徒の実態に応じたソーシャルスキルトレーニング ・伊東地区の豊かな自然環境や観光資源を活用し、多面的な視点で探究的な学び ・特別活動、部活動においても育てたい資質・能力を伸ばすことを目指した取組 	<p>～本校ではこのような生徒を求めています～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自ら考え、行動する力を伸ばす意欲のある生徒 ・豊かな感性と教養を身につける意欲のある生徒 ・他者と協働し、未来を創造する意欲のある生徒 ・校訓に基づき、将来にわたり、真理を尊び、価値を生み出し、他者を支える人でありたいと希求する生徒

3 スクール・ポリシー具現化の柱

<p>本校は、<u>グラデュエーション・ポリシー</u>で示した「<u>8つの力</u>」を卒業までに「<u>育てたい力</u>」として位置付けた。再編前の3校の教育活動の整理・統合を進め、生徒・教職員が相互協力体制を構築して、より良い学校づくりの使命を自分事として捉え、「<u>育てたい力</u>」を伸ばす新しい学校の教育活動を推進するため、以下のア〜ケをスクール・ポリシー具現化の柱とする。</p> <p>ア 再編前の3校の学習内容を継承・発展させ、<u>確かな学力の定着とともに生徒個々の特性に応じた学力の向上を図り、学科、類型ごとの特色化を進める。</u></p> <p>イ 再編前に3校に入学した3年生と、新高校となって入学した1、2年生が新たな高校で<u>心身ともに健康的で他者を思いやる生活を送るための指導・支援の充実を図る。特別支援学校との交流等を積極的に展開する。</u></p> <p>ウ 生徒の社会的・職業的自立を促す<u>キャリア教育を展開し、生徒個々の進路実現を図る。</u></p> <p>エ 伊東地区唯一の高校として地域連携、地域貢献活動等を通して<u>探究的な学びを展開し、地域・保護者に愛され、信頼される学校づくりを推進する。</u></p> <p>オ <u>特別活動、部活動の活性化を図る。</u></p> <p>カ 「<u>育てたい力</u>」をどの程度伸ばすことができたのかを検証する。</p> <p>キ 生徒の豊かな学びの前提となる<u>教職員の資質・能力の育成と協力体制、情報化、業務改善を推進する。</u></p> <p>ク 生徒の豊かな学びの前提となる<u>安心・安全で快適な教育環境の整備を図る。</u></p> <p>ケ 生徒の豊かな学びの前提となる<u>確実で効果的な学校事務執行を推進する。</u></p>

4 本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

「共」：学科共通 「普」：普通科 「商」：総合ビジネス科（3年生）、ビジネスマネジメント科（1、2年生）

取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
<p>ア</p> <p>確かな学力の定着とともに生徒個々の特性に応じた学力の向上</p> <p>学科、類型ごとの特色化</p>	<p>小集団や習熟度別学習集団によるきめ細かな指導や生徒アンケート（年間3回予定）を通して、新しい学びに向かうために必要な「確かな学力」の育成（基礎学力の定着）</p>	<p>・秋実施の到達度テストの再実施で学習到達度が上昇した生徒95%以上【1、2年生共】</p>	<p>教務課 図書課 進路課 芸術科 商業科 類型委員会</p>
	<p>初期指導等を通じた、学習習慣の定着</p>	<p>・1日の平均家庭学習時間が最低1時間以上の生徒割合が各学年80%以上【共】</p>	
	<p>授業アンケート等を通して、生徒の学習到達度を確認する。</p>	<p>・「授業がわかる」回答生徒割合80%以上【共】</p>	
	<p>各種検定試験や校外団体主催の論文コンテスト等への積極的挑戦を奨励する。</p>	<p>・受検実績が1人1回以上【普】</p> <p>・卒業時検定取得2種目以上【商】</p> <p>・放課後等検定補習実施【商】</p>	
	<p>読書習慣の定着と学校図書館の利用を促進する。</p>	<p>・朝読書の時間設定【共】</p> <p>・一人年3冊以上の読書【共】</p> <p>・図書館を利用した授業や講座を校内全体で月3回以上実施【共】</p>	

様式第1号

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
		<p>普通科3年生Pコース、1、2年生特別進学類型は、バランスのとれた確かな学力（5教科受験型の大学に対応できる）とその学びを保証し、国公立大学を目指そうとする生徒の学習意欲向上を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・1月進研模試（国数英）で平均GTZがB1以上（1・2年生）、共通テストと2年2月マーク模試の得点比が2割増の生徒が80%以上（3年生）【普・P／特進】 ・「授業や行事を通して学習意欲が上がった」回答生徒割合90%以上【普・P／特進】 	
		<p>普通科3年生Cコース、総合キャリアコース、1、2年生進学類型の多様な進路に応じた、適切な進学指導を充実させ、学習意欲向上を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「自分の好きなことや強みを理解して、進路を考えている」回答生徒割合80%以上【普・C／総キャリ／進学】 ・「教師が生徒の進路に応じた声掛けをしてくれる」回答生徒割合80%以上 ・「授業や行事を通して学習意欲が上がった」回答生徒割合90%以上【普・C／総キャリ／進学】 	
		<p>普通科3年生アートコース、1、2年生アート類型の教育活動の特色化と校外への積極的な発信を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「アートコース(類型)に設置された専門の授業により、アートの専門性が身についた」回答生徒割合80%以上【普・アート】 ・全国レベルの大会やコンクール出場2件以上【普・アート】 	
		<p>今年度スタートするスポーツ健康類型の授業や類型行事を充実させる。来年度の同類型の具体的な教育内容を立案する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「スポーツ健康類型に設置された専門の授業により、スポーツ健康に関する専門性が身についた」回答生徒割合80%以上【普・ス健】 ・来年度新たに開講する科目のシラバス、指導案の作成、授業内容の検討【普・ス健】 	
		<p>総合ビジネス科3年生、ビジネスマネジメント科1、2年生の取組の特色化、課題研究の校外への積極的な発信を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「商業科目の授業により、ビジネスに関する専門性が身についた」回答生徒割合80%以上【商】 ・全国レベルの大会出場2件以上【商】 	
イ	<p>心身ともに健康的で他者を思いやる生活</p>	<p>基本的な生活習慣の確立をめざし、明るい挨拶、爽やかなマナー、きちんとした身なりを通して、伊豆伊東高生としての誇りと自覚を持たせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「服装を正し、礼儀やマナーをわきまえて行動している」回答生徒割合90%以上【共】 	<p>生徒課 保健課 共生共育推進委員会</p>

様式第1号

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
	<p>特別支援学校との交流等の積極的展開</p>	<p>心身の健康に関する保健教育の充実を図り、生徒の健康意識や自己管理能力の向上に努める。</p> <p>保健室、学年部、担任、副担任、相談室が連携し、悩み等を抱えている生徒や不登校傾向等の生徒に早期支援の充実を図る。生徒の教育的ニーズを適切に理解し、個に応じたソーシャルスキルの習得に向けた支援をする。特別活動や行事、HR活動、生徒会活動、部活動を通して、良好な人間関係づくりと自己肯定感の涵養、向社会的スキルの育成を図る。</p> <p>伊豆高原分校の生徒と交流を図り、共通理解を深める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「地域や近所の人と会うとあいさつをしている」回答生徒割合 80%以上【共】 ・昇降口指導の実施【共】 ・保健日より年 12 回発行【共】 ・薬物講座等年 2 回実施【共】 ・A E D 講習等への生徒参加【共】 ・朝食摂取率 90%以上【共】 ・年間欠席日数 10 日以内、遅刻早退については年間合計日数 10 回以内の生徒の割合 90%以上【共】 ・学校生活サポートシート等を活用した「生徒情報交換会」学期 1 回【共】 ・巡回通級等において、配慮を要する生徒に対して S S T、アサーショントレーニング月 1 回【共】 ・「自分を理解し大切にしてくれる友がいる」回答生徒割合 90%以上【共】 ・「目標を持ち、充実した学校生活を送っている」回答生徒割合 85%以上【共】 ・「学校に自分の居場所があると感じる」回答生徒割合 80%以上【共】 ・1 分間カウンセリングの実施（1、2 年）【共】 ・「共生・共育を通じて多様な価値観を受容する大切さがわかったと感じる」回答生徒割合 80%以上【共】 	
ウ	<p>キャリア教育の展開による生徒個々の進路実現</p>	<p>3 年間を見通し、進路シラバスに沿った進路指導を実践する。（分掌、学年部との連携）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・進学か就職かを決めている割合 80%以上（1 年）【共】 ・興味のある学問・職種がある生徒の割合 80%以上（1 年）【共】 ・進学の場合の校種や内容、就職の場合の職種を決めている割合 80%以上（2 年）【共】 ・第一志望が確立されている割合 90%以上（3 年）【共】 	<p>進路課 教務課 学年部 商業科</p>

様式第1号

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
		個人面談を通し、卒業後までを見越したきめ細かな指導・助言に努め、個々の生徒への支援を充実させる。	・教職員による個人面談年間3回以上【共】	
		教務課と学年部が連携し、進路希望に応じた奨学金情報を提供する。（3年）	・日本学生支援機構奨学金の情報提供100%【共】	
		積極的な企業及び学校訪問により情報の取得と共有を行い、多様化した進路希望への対応を強化する。（3年）	・訪問後に報告書を作成し、進路課、各学年部主任、3年担任との情報共有【共】	
		検定等資格を活用した大学の学校推薦型選抜等に挑戦させる。	・検定等資格を活用した大学の学校推薦型選抜等による受験者数増加【商】	
		インターンシップや一日体験ナース等の職業体験を通して将来の生き方を考える。	・体験参加者のうち、「職業体験は将来の生き方を考える上で有意義だった」回答生徒割合80%以上【共】	
		P T Aとの連携による土曜講習(サタデーセミナー)及び長期休業中等の進学講座の充実を図る。	・「受講により学力の伸びを実感したと感じる」回答生徒割合70%以上【普】	
エ	探究的な学びの展開 地域・保護者に愛され、信頼される学校づくり	3年間を見通した「総合的な探究の時間」の計画を策定する。 「総合的な探究の時間」充実のため、市役所等外部との連携を図る。 総合ビジネス科での「課題研究」で産学官との連携を進め、地域課題の解決策を提案し、生徒のコミュニケーション能力やプレゼンテーション能力を高める。 学校HPや学校公式SNSを利用し、国内外に向けた広報活動を行う。	・「総合的な探究の時間の取組で情報収集・分析力が身についた」回答生徒割合80%以上 ・「総合的な探究の時間の取組で課題発見力、解決力が身についた」回答生徒割合80%以上 ・「総合的な探究の時間の取組で地域活性化等自分たちの身近な課題解決に貢献したいと考えるようになった」回答生徒割合80%以上【共】 ・県立大学出張講義5回【商】 ・外郭団体主催事業に参加【商】 ・伊東市活性化プラン発表【商】 ・ビジネスプラングランプリに参加【商】 ・「課題研究」全講座で探究的内容を実施する【商】 ・HPや公式X、インスタグラム随時更新【共】	探究委員会 総務課 情報広報課 商業科 教務課

様式第1号

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
		<p>授業参観、公開授業、学校見学会等を推進、また中学生1日体験入学などの内容の充実を図る。</p> <p>携帯メール一斉配信登録者を増加させ、緊急の情報や日常の教育活動をメール配信により教職員や保護者と共有する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「参加してよかった」回答参加者割合 80%以上【共】 ・保護者の緊急メール加入率 100%【共】 	
オ	特別活動、部活動の活性化	<p>生徒会活動への主体的な参加を奨励し、統合後の生徒相互の協力する雰囲気を醸成する。リーダーの育成とその活性化を図る。</p> <p>統合後2回目となる文化祭、体育祭等の計画や準備を通じ、生徒の一体感を高め、各行事の充実を図る。</p> <p>統合後2回目となる修学旅行の計画、準備を進め充実を図る。（2年）</p> <p>部活動を奨励し、生徒が互いに人間性を高め合える場としての指導の充実に努める。また、学習と部活動の両立の実現を支援する。</p> <p>部活動指導員、スポーツエキスパート及び文化の匠事業による外部人材の活用を図る。</p> <p>生徒会や部活動などを通じた地域貢献活動、ボランティア活動を推進する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・リーダー研修会の実施【共】 ・「各行事は充実していて、成長を実感できた」回答生徒割合 80%以上【共】 ・「修学旅行は充実していて、成長を実感できた」回答生徒割合 80%以上【共】 ・「部活動に積極的に参加し充実感を得ている」回答生徒割合 75%以上【共】 ・「部活動下校午後7時」（原則）の徹底【共】 ・1部活動1貢献活動【共】 	生徒課 学年部
カ	「育てたい力」伸長の検証	<p>グラデュエーション・ポリシーで示した「8つの力」の入学時と2年終了時の比較検証を行う。（R6入学生から）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学びみらいPASSによる測定を行う。（1年）【共】 	進路課 学年部
キ	教職員の資質・能力の育成と協力体制、情報化、業務改善	<p>年次別研修を中心に、授業力向上と観点別学習評価についての校内研修を実施し、個々の改善への取り組みを促す。</p> <p>ICT機器や一人一台端末を活用し、主体的・対話的で深い学びを実践するための授業改善を行う。</p> <p>OJT、チーム研修等を活用した「信頼できる先生」の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・校内研修年5回以上実施【共】 ・授業見学週間年2回設定【共】 ・「ICTや一人一台端末を日常的に活用している」回答教員割合 80%以上【共】 ・「主体的・対話的で深い学びをめざす授業づくりに日常的に取り組んでいる」回答教員割合 95%以上【共】 ・「一人一台端末の活用が有意義だった」回答1、2年生生徒割合 70%以上【共】 ・「信頼できる先生がいる」回答生徒割合 80%以上【共】 ・年次別研修該当者と希望者によるチーム研修年2回実施【共】 	研修課 教務課 情報広報課 管理職

様式第 1 号

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
		教職員のコンプライアンス意識の向上を図る。	・コンプライアンス研修を含めた職員研修を月 1 回以上実施【共】	
		勤務管理の徹底と健康維持に努める。	・教職員の夏季休暇完全取得 100%【共】 ・「平均して週 1 回以上は勤務時間終了後 1 時間以内に退勤できた」回答教職員割合 100%【共】 ・「平日の完全退勤時刻 20 時を原則的に守ることができた」回答教職員割合 100%【共】	
		職員室をはじめ、新高校が働きやすい環境となるよう留意する。	・「職員室をはじめ新高校が働きやすい環境になるよう留意した」回答教職員割合 90%【共】	
ク	安心・安全で快適な教育環境の整備	校舎の施設設備について理解を深め、事故を防ぎ、防災安全等の危機管理意識の向上に努める。	・危機管理マニュアルの浸透【共】 ・緊急避難経路の確認【共】 ・定期的な施設設備の安全点検実施【共】 ・AED 講習の実施【共】 ・校内、学校周辺の危険箇所の確認学期 1 回【共】	総務課 保健課 事務室
		行政と連携して災害時の役割分担を明確化、地域防災訓練等への参加を促進する。	・防災教育連絡会議への参加【共】 ・地域防災訓練参加率 90%以上【共】	
		実践的な防災訓練を実施し、防災意識の向上を図る。また、防災備品の充実を図る。	・全校防災訓練の実施【共】 ・消火訓練等、教職員向け実践的防災訓練の実施【共】	
		校舎の環境美化を推進し、生徒の美化意識を醸成する。また、生徒が安心安全に学習や活動に取り組める教育環境を整備する。	・一足制である校舎の美化意識を高め、清掃活動を徹底する。【共】 ・「校舎をきれいに、施設や備品を大事に使うように心がけている」回答生徒割合 90%以上【共】 ・ゴミ分別の推進【共】	
ケ	確実に効果的な学校事務執行	教職員間の連携を図り、健全な校務執行と計画的で有効な予算執行を行う。	・開校 2 年目で初年度に引き続き煩雑な業務が想定されるが、情報共有により、生徒、教職員の学校への満足度を高める。【共】	事務室